

「JA兵庫南自己改革」通信

JA兵庫南の自己改革への取り組み、進捗状況を報告します。

vol.1

第2回担い手農家懇談会での意見交換について



質問や意見提案を行う参加者

議題「第1回担い手農家懇談会(平成29年8月開催)での質疑に対するJAの対応」や「第7次地域営農振興計画の進捗状況について」に対し、多くのご意見をいただきました。その一部ではありますが、紹介いたします。

開催概要

開催日:2月26日、3月1日、3月5日

参加者:野菜・水稲関係認定農業者、作目部会代表者、営農組合代表者、ふぁ～みんSHOP代表者、計66人

1. 農業者の所得増大

テーマ	出席者からの意見	JAからの回答
所得アップ	キャベツの価格が高騰しており、契約栽培との価格差があまりにも大きすぎる。今年のように市況が高騰した場合は契約の内容を見直すよう検討して欲しい。米も同様に、農家のやる気が出るような販売施策を出して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> 契約栽培では予め数量および単価を決めることになるため、市況の状況によって有利、不利が生じます。市況を反映できる契約方法について検討していきます。また、米の買取販売についても検討します。 輸入品との競合もあり事業者側が強い状況ですが、少しでも高く売れるよう交渉は続けていきます。(全農)
コスト削減	農家の売上は頭打ちとなり、コストの削減が課題である。肥料や資材に関して、他の業者では2/3の価格で入るものもある。価格調査は常に必要であり、JAも全農まかせではなく少しでも安い資材を農家に提供できるように仕入先と交渉して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> 仕入先は、全農だけに限定しておらず、これからも低コスト資材の仕入れ努力を行います。 コスト削減については、全農としても努力していきます。(全農)
	農薬については、少量規格が廃止されて大規格化が進んでいる。低価格の少量規格を考えて欲しい。	ジェネリック農薬の販売も含め、メーカーと協議しています。(全農)
	「国産高度化成444(オール14)」の売り出しについて、せっかくの特価商品チラシも、窓口に置いているだけで何の説明もない。PR不足である。	肥料の銘柄集約によって安価で提供出来るようになりました。農家のみなさんに使用していただくよう推進していきます。

2. 農業生産の拡大

テーマ	出席者からの意見	JAからの回答
生産の拡大	専業農家は面積拡大に精一杯努力している。直売所の出荷者にも協力願いたい。	直売所出荷者にも面積拡大を推進していきます。
	複数のJAが連携した産地の拡大、産地の一元化について全農はどのように考えているのか。	有利販売のために、スケールメリットの追及も検討していきます。(全農)
	営農組合にも野菜に取組んで欲しいというが、収支のシミュレーションをして勤めて欲しい。たまねぎのように収支の合いにくい作物もある。	収支のシミュレーションを示し、提案するようにします。たまねぎについては省力化のため、収穫作業機のレンタルや無調整での出荷を推進しています。
	野菜育苗センターの人手不足についてどう改善していくのか。	女性の作業員2名を増員しました。また、将来的には知識を有したJA職員の配置も考えています。
育農塾生のようにやる気のある農家を支援して欲しい。	ハウス貸与事業のほか就農者を支援する事業に取り組んでいます。是非、活用して頂きたいと思っています。また、「かこがわ育農塾」は継続事業として平成30年度も開催します。	

担い手農家懇談会にご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。今後も皆さまのご意見をもとに役職員一同、JA自己改革に取り組みます。

～農業の活性化と豊かな地域社会をめざし、創造的自己改革への挑戦!～
「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、取り組みます。